

助産師としてのキャリアアップにつながる

助産師出向に 取り組みませんか？

茨城県看護協会では助産師活用推進事業をおこなっています

助産師活用推進事業は県内の施設に勤務するすべての助産師を対象に、現在の職場の身分を維持しながら他施設へ出向することをサポートします。県内の助産師は大学病院や総合病院への就業が多く、それ以外の施設では分娩件数に比べて助産師が少ない傾向があります。また分娩取り扱い機関の減少により一部の医療従事者に負担が生じたり、遠方での出産を余儀なくされている地域が存在します。助産師の出向・受け入れをすることで、施設や地域の偏在を是正し、地域の周産期医療サービスの充実を図ります。

出向の 目的



応援目的
施設の労働力需要の対応



研修目的
あらゆるテーマで
助産実践能力強化
(分娩介助、院内助産、助産師外来、不妊看護、
ハイリスク看護など)



指導目的
ハイリスク妊娠・分娩への
対応などの教育指導



実習支援目的
助産師学生の実習を
支援・指導に貢献

助産師数は増えていますが、就職先や
地域の偏りがあるのが現状です (H30年時点)

助産師数
人口10万人対

茨城県は全国 **41** 位 (25.7)
(全国平均29.2)

県内助産師の
就業場所
(総数740人)

その他74人
助産所31人

診療所

136人

病院

499人

地域内での連携促進

個人病院
クリニック



妊産婦に関わる様々な
問題を扱い出産現場に
多く携われる

大学病院
総合病院



高度医療・最新医療の
知識や看護を学べる

医療知識の向上など

助産実践能力の向上など



公益社団法人
茨城県看護協会
Ibaraki Nursing Association

お問い合わせは

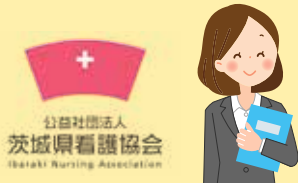
助産師出向コーディネーターまでご連絡ください

TEL 029-221-6900 FAX 029-226-0493 MAIL ina-jyosan@ina.or.jp
〒310-0034 茨城県水戸市緑町 3-5-35



助産師出向の イメージ

助産師活用推進事業
(茨城県委託事業)



出向コーディネーター
(助産師)

出向先施設の
選定から契約まで、
さらに出向中も
コーディネーターが
サポートします！

出向元医療機関

出向の目的や施設・
期間など、ご希望を
お伝えください。

出向調整

希望した助産師と受け入れ
施設より聞き取りを行い、
出向の期間や労働条件
などの調整をします。

出向先医療機関

出向の目的や人数・
期間・経験年数等、ご希
望をお伝えください。



出向契約

給与や待遇面の現状を維持して、労働条件・
給与・保険等の契約をします。

出向

面談やメールなどによる定期的なコデー
ネーターのサポートがあります。



出向した助産師の

体験談



A
さん

総合周産期センターから
クリニックへ5ヶ月出向

63件の分娩介助ができ
た。短期間で集中的に分
娩介助ができ、分娩進行
の観察に自信がいった。

B
さん

地域周産期センターから
総合周産期センターへ
6ヶ月出向

他施設の経験豊富な助産師や
看護師の働き方を見たり話を
したり、将来やりたいことが
見つかりました。

C
さん

地域周産期センターから
総合周産期センターへ6ヶ月出向

看護やケアの実際が自院とあまり
変わらず、自分たちの対応でよい
と自信になったし、自院の良さを
再確認した。ケアの方法が違うこ
ともあったがそれも勉強になった
し、視野が広がった。

D
さん

総合病院から
総合周産期センターへ
1ヶ月出向

ハイリスク妊産婦の管理や
ケアを行い、普段は送る側の
ため受け入れる側の葛藤を学
ぶことができた。

E
さん

開業助産師
病院へ9ヶ月出向

週2回時短勤務で出向していま
す。母乳育児支援の他にもス
タッフに向けての勉強会や授
乳指導の改善を行っています。



公益社団法人
茨城県看護協会
Ibaraki Nursing Association

お問い合わせは

助産師出向コーディネーターまでご連絡ください

TEL 029-221-6900 FAX 029-226-0493 MAIL ina-kyosan@ina.or.jp
〒310-0034 茨城県水戸市緑町 3-5-35

